

～ コミュニティ・スクール だより No.13 ～

氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局

「15の春を輝かせるために」全力で応援！！（竜北中学校）



いよいよ受験に向け今年も面接練習がスタート。受験に必要な3年生に向けて元学校の先生や地域学校協働活動推進員が面接の練習を手伝いました。個人面接、集団面接と本番さながらに行いました。最初は頼りない応答だったが、回を重ねるごとに段々しっかりしてきて、受験生らしく自覚が出てきたと応援にも力が入りました。

また、今年度最期の「ようこそ先輩」でも、今後の活躍を期待し、背中を押すメッセージを聞き、それぞれの思いを胸に、残りの中学校生活を悔いのないよう気合いを入れる3年生の姿がありました。

創立150周年記念式典までラストスパート（第5回竜北西部小学校CS会議 1月21日）

永田 弘さん
（上鹿島区長）



2月1日の創立150周年記念式典に向け、それぞれの立場で準備を進めてきました。150年の歴史を分かりやすく紐解くため、小学校の歴史をまとめようと動画用に各世代の方へインタビューをしたり、児童が楽しめる午後の活動に向け、遊びのブースを考えたりと子ども委員を中心に、「子どもたちを真ん中にした150周年記念式典」を盛り上げようと協力して取り組んできました。いよいよ、本番を前に、最後の調整をし確認し合いました。「子どもも大人もとても楽しみにしながら、本番までもう少し、協力して頑張りよう！」と誓い合いました。

全教職員とともに意見交流（第4回氷川中学校CS会議 1月23日）



全教職員を交え、今年度の取組の振り返りや次年度に向けての話し合いをグループに分かれ行いました。氷川中学校のめざす生徒像を念頭に、地域への祭りや行事への参画、「CSの日」の取組などを振り返り、先生方の思い、中学生の思い、CS委員の思いとそれぞれの意見を出し合い目標に近づけたか、次年度へどう活かすべきかを意見を出し合いました。子ども委員は、「地域のことももっと知りたいし、防災についても実際実行したかったという思いはあるが、企画、運営をやらせてもらえ、とても有り難かった。」と1年間の活動を振り返り、次年度への思いを後輩に託しました。

